

医師事務作業補助者の育成と 地域医療の継続

～ 留萌市立病院での取組成果報告 ～

留萌市では、平成 28 年度から「地域健康づくり関連人材の移住促進・養成プロジェクト」の一貫として、留萌市立病院における医師事務作業補助者の教育・育成・能力向上に取り組んでいます。本シンポジウムでは、当該取組が医師の負担軽減・病院運営に及ぼした成果や課題について、北海道内の自治体及び関係機関の皆様と共有し、北海道全体の取組とするための方向性について議論します。

2018 年

開場 13:00

3月24日(土) 13:30 - 16:00

会場

TKP ビジネスセンター 赤レンガ前 | はまなす |
札幌市中央区北 4 条西 6 丁目 毎日会館 5 階 ※裏面に案内図を掲載

入場
無料

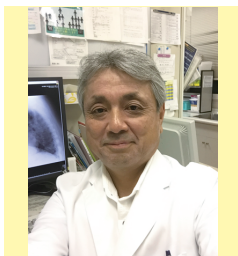
第 I 部

初年度の取組状況報告

1. 留萌市立病院における医療クラークの勤務実態 (病院職員アンケートとタイムスタディ調査の結果から)
一般社団法人 北海道総合研究調査会
2. 留萌市立病院における質の高い医師事務作業補助者 (医療クラーク) の育成
公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会 小山田 剛氏
3. 医師事務作業補助者の育成・能力向上と成果、今後の課題
留萌市立病院 院長 村松 博士氏

第 II 部

講演



名寄市立総合病院における医師事務作業補助者の過去・現在・そして未来は？

名寄市立
総合病院
副院長
酒井 博司氏

昭和 60 年旭川医科大学卒業、平成 2 年旭川医科大学大学院医学研究科修了(医学博士)。上湧別厚生病院、道立北見病院、道立紋別病院などの勤務を経て、平成 17 年に名寄市立総合病院循環器内科診療部長就任、平成 24 年から現職。平成 20 年に院内で医師事務作業補助者の育成をスタート、平成 24 年からは医師支援室長として医療クラークの更なる育成・活用に尽力している。

第 III 部

パネルディスカッション

医師事務作業補助者の育成にかかる成果と課題

～医師の負担軽減と地域医療の継続に向けて～

コーディネーター	一般社団法人 北海道総合研究調査会	理事長	五十嵐 知嘉子
パネリスト	・名寄市立総合病院	副院長	酒井 博司氏
	・留萌市立病院	院長	村松 博士氏
	・特定非営利活動法人 日本医師事務作業補助研究会	北海道支副部長	渋谷 由美子氏
	・厚生労働省 年金局 事業企画課	大臣官房参事官	中野 孝浩氏 (予定)

参加申込書

申込先



F A X : 011-222-4105



E-mail : tera@hit-north.or.jp

一般社団法人 北海道総合研究調査会（略称：HIT ヒット） 担当 | 寺下

※

一般社団法人 北海道総合研究調査会は、留萌市からの委託により本シンポジウムを運営します。

申し込み

申込締切：3月20日（火）

参加者氏名		
連絡先	お勤め先 ご所属	
	住所	〒
	TEL FAX	TEL () - FAX () -

・申込書に記載された個人情報については、適正に管理を行い、本シンポジウム以外の目的に使用することはありません。

会場案内

MAP

毎日札幌会館
5FTKP
ビジネスセンター
赤レンガ前
「すずらん」

お問合せ

事務局

一般社団法人 北海道総合研究調査会
(略称：HIT ヒット)

担当 | 寺下

住所 | 〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目
毎日札幌会館3階

TEL | 011-222-3669

FAX | 011-222-4105

E-mail | tera@hit-north.or.jp